

第5回 日中韓物流技術交流会報告

自動車・精密機器の生産基地 佛山市で物流技術交流を深める

中国経済全体の1/90となる 自動車部品の生産基地

第5回 日中韓物流技術交流会は、さる6月28日(水)~30日(金)の3日間、中国南部の経済中心地である中国広東省・佛山市の国際会議展覽中心にて開催された。

今回は佛山市政府が主催する第3回佛山(国際)物流合作面談会、佛山(国際)物流設備技術と応用展示会、中国物流業者(百強)のCEOによる講演など、多彩なイベントが併催された。

佛山市は中国広東省第3番目の大都市で、広州市に隣接している。同市の経済規模は中国全体の約90分の1を占めると言われている。

自動車部品の生産基地として日本からは大手自動車部品メーカーが数社進出しているほか、その顧客であるトヨタ、日産、ホンダなど日系自動車生産工場へは車で約1時間以内の好立地にある。

中国の家電製品、デジタル光学機器、新素材、建築材、生物医薬メーカーなどのほか、日本からは東芝電気、三洋電機、松下電器、ホンダ、豊田通商、アイシン精機、住友商事、伊藤忠商事ほか精密機器メーカーなどもこぞって進出している。

同市で日中韓物流技術交流会が行われるこの機に、日本からは(株)流通研究社の主催で編成された交流団26人(図表-1, 2)が参加、韓国からは(社)韓国物流協会が率いる交流団15人、総勢約250名以上のメンバーによる交流が

行われた。

今回のテーマは「物流センターの技術と応用」。現在の中国で最も投資意欲が高いと言われている医薬・食品業界を中心に、3か国の専門家の発表を軸に、先進物流技術の交流が行われた。

そのほか、IBMおよびMHメーカーの中国現地法人も特別参加しており、聴講者からは各社の得意分野に基づいた最先端の事例発表、システム紹介は「大変参考になった」との声も多かった(図表-3)。

アジア/中国でトップクラスの センターを2か所見学

日本からの交流団は日程の最終日となる30日午前中に、下記の物流現場2か所の視察を実施した。

(1) 華南(国際)物流鋼鉄購買センター (写真-1)

同鋼鉄購買センターはアジアでもトップクラスの規模を誇る。インターネットを通じて世界各国からの注文に応

図表-1 第5回日中韓物流技術交流会の日程表

日次	月日曜	発着地/滞在地名	交通機関名	摘要
1	2006年 6月 27日	成田空港発 広州着 佛山滞	JL-603 専用バス	成田空港集合 空路、広州へ 着後、成田組と関西組合流 市内視察後、佛山へ 結団式 (佛山泊)
2	6月 28日	佛山滞	専用バス	午前 佛山市政府副市長の会見 佛山物流イベント参加 午後 第5回中韓日物流技術交流会参加 (佛山泊)
3	6月 29日	佛山滞	専用バス	終日 第5回中韓日物流技術交流会参加 中韓日参加者全員による交流夕食会 (佛山泊)
4	6月 30日	佛山滞	専用バス	午前 現場見学 華南(国際)物流鋼鉄購買センター 宝供物流有限公司(3PL) 午後 市内視察 解団式 (佛山泊)
5	7月 1日	佛山発 広州発 成田空港着	専用バス JL-604	広州国際空港へ 空路、帰国の途へ 通関手続き後、解散

図表 - 2 第 5 回日中韓物流技術交流団日本側参加メンバーリスト
(現地参加含む・50音順)

No.		勤務先	部署	役職	氏名
1	団長	(株)ダイフク	執行役員 FA & DA 事業部		辻本方則
2	副団長	(株)ダイフク	執行役員 FA & DA 事業部支店統括部	統括部長	北本正和
3		(株)ダイフク	ソフトウェア部東部システムグループ	部長	紺谷幸司
4		伊東電機(株)	取締役技術本部 兼大阪支社長	本部長	西田良和
5		伊東電機(株)	営業部兼アジア担当	部長	穴井伸輔
6		伊東電機(株)	統括本部経営統括部	部長	岡 章雄
7		オークラ輸送機(株)	物流システム統括部第3営業部	部長	長嶺 正
8		上海オークラ機械(有)		經理	毕 建剛
9		(株)岡村製作所	物流システム大阪支店	係長	近藤慎一
10		(株)岡村製作所(上海)		副総監	謝 剛
11		岐阜日塑貿易(上海)有限公司		総經理	未永孝一
12		(株)協和製作所	産業機器事業部技術部	部長	藤村省吾
13		(株)協和製作所	大連事務所		劉 兆福
14		ティ・エス・ケイ(株)		代表取締役社長	高木悦郎
15		(株)日建リース工業	物流機器事業本部 東京事業部	部長	中澤智道
16		(株)フレームワークス		代表取締役社長	田中純夫
17		(株)フレームワークス	取締役 海外事業部	部長	井筒幸彦
18		北京飛龍日恒科技有限公司		副總經理兼開発部部長	吉田 鈴
19		ホクショー(株)	営業本部	取締役 営業副本部長	北村宜大
20		ホクショー(株)		通訳	劉 愷予
21		村田機械(株)	システムエンジニアリング部	課長	浅沼峰広
22		村田機械(上海)			陸 良泉
23		(株)流通研究社	RYUKEN マテリアルフロー研究センター	RCC 統括マネージャー	橋爪文彦
24	事務局統括	(株)流通研究社		代表取締役社長	間野 勉
25	事務局長	(株)流通研究社	海外事業室	室長	謝 建国
26	事務局	(株)流通研究社	営業部		木村 健

図表 - 3 日本側の交流会発表テーマと発表者(敬称略)

日次	テーマ	会社名	氏名
6月28日	物流センターの役割と応用事例紹介	(株)ダイフク	紺谷幸司
	POWER MOLLER	伊東電気	西田良和
	中国医薬業界(九州通)事例の紹介	(株)岡村製作所	近藤慎一 謝 剛
6月29日	垂直搬送及び仕分け System の紹介	ホクショー	北村宜大 劉 愷予
	モータプーリ及びモーターローラーの応用事例紹介	(株)協和製作所	藤村省吾
	樹脂チェーンコンベヤの事例紹介	オークラ輸送機	長嶺 正 毕 建剛
	薬品配送センターの紹介	村田機械(株)	浅沼峰広
	SCM 7Keys to Success	(株)フレームワークス	田中純夫



写真 - 1 華南（国際）物流鋼鉄購買センター



写真 - 2 宝供物流有限公司（3PL）配送センター



写真 - 3 佛山市副市長会見の様様（左は日本視察団・右は韓国視察団）



写真 - 4 佛山市常務副市長 黄 維郭氏



写真 - 7 「中国物流と購買連合会」吳清一副会長と交流団の辻本団長を囲んで日本側のメンバーの記念撮影



写真 - 5 佛山市物流イベント会場の様様



写真 - 6 交流会開会式の様様。右から北本副団長，辻本団長



写真 - 8 現地のテレビ取材に応じる辻本団長

じ、製品加工後に輸出する方式を採用している。

（2）宝供物流有限公司（3PL）配送センター（写真 - 2）

同社は中国トップクラスの民間3PL企業で、「珠海デルタ地域」で最大規模の物流センターを目指している。

両センターの発想力とスケールは実に壮大で、見学者はそのパワーに圧倒されていた。

*

第5回交流会の中国側の参加者を業種別に分析してみたところ、製造業20%、物流業者25%、小売業15%、物流機器メーカー20%、システムベンダー10%、その他10%となっており、年々ユーザーの参加が増加傾向にあることがわかった。

加えて、これまで4回実施した交流会と比較し、物流機器メーカー、システムベンダー、エンジニアリング会社

はもちろんだが、そのユーザーに当たる製造業・卸・物流業者の物流知識が豊富なことに驚かれた。

なお次回の第6回の交流会は、中国北部で開放され「第2の上海浦東」と呼ばれている天津において07年6月に開催される予定で、講演発表者は07年から1月末より募集を開始する予定である。

（交流会事務局）

MF